

# 医労連共済 加入拡大・推進ニュース 第29期

2017年08月03日発行 / 日本医労連共済事業局

No.06

8月より共済事業局長としての任務に就きました～内田博之です～よろしくお願ひします！

## 現場からの声に耳を傾け 先頭に立って奮闘します！

7月の定期大会で医労連共済事務局長に承認されました内田博之です。出身組織は山梨県医労連で、医労連本部書記局に来て4年になります。医労連共済と最初の出会いは20年前。山梨県医労連の定期大会に来賓で来られた医労連共済会専務理事の伊那さんに、共済の魅力をお話し頂いたのが最初です。当時は、組合の先輩から「労組の本筋は賃金闘争だ」と言われることもありましたが、医労連共済の魅力を学びながら、一年後には山梨民医労で組織一律をスタートさせてきました。実務などの心配もありましたが、スタートさせてみれば「助け合い」の活動が簡単に出来ることに驚きもあったことも思い出します。

医労連共済は、他産別でも真似できない“休業保障”など、魅力ある「助け合い」の制度をもっています。また、加盟組織や単位共済会の共済担当者や「自前の講師」が、医労連共済を支えて大きくするために奮闘しています。こうした医労連共済の活動をもっと大きくするために、現場からの声に耳を傾け、先頭に立って奮闘したいと思っています。よろしくお願ひいたします。



### TOPIX～こんな事例がありました…

#### 事例① ～ 迷った時には“方針”にもとづいて・・・北海道

「医労連共済について聞きたい」と組合員からの電話。事務所からJRで1時間。電話か面接か一瞬迷いましたが・・・。こういう時は「方針」が大事。方針①～組合員との信頼関係を構築する。方針②～共済・組合の有意義さを広げる人づくり。方針③～法人外の同業友だちを紹介してもらい、組織化の可能性を追求する。結果、トータル4時間を投資した結果、組合が大事にしている「支え合う仲間づくり」について共感してくれました。共済の相談はプライベートな内容になるため、守秘義務について最初にしっかりと説明します。その上で、自身の身体や家族への負担を考えていること。そして「医療や介護の仕事が好きだけど大変なこと」を教えてもらうことができます。組合の大切さを理解し、主体者になってもらう重要な機会だと感じています。

#### 事例② ～ 以心伝心・・・関西

今朝は、前から加入を呼びかけていた新人さんから今日こそ加入用紙をもらおうと思いながら近づくと。「おはよう！」って声をかけると「●●さん、これを渡そうと思って」と彼女の鞆から加入用紙が出現！

前々から、彼女のプリセプターをしているKさんが加入の呼びかけをしてくれて、「書いたら●●さんに渡してね」と言っていたらしいです。しかしながら、毎日バタバタしていて、仕事以外の話をする時間がないうちの病棟。このことを早くKさんにも報告して「喜びを分かち合おう」と思っても、急変やらなんやらでバタバタしてあっという間に午後。育短のKさんは4時半までの勤務です。加入用紙を見てにっこりと、「コツコツ増やしていきます！」というKさんの笑顔に、またまた元気百倍な私！

**共済全国交流集会の申込はお早めに！～現在～9月140人弱、10月80人弱！**